

NEWS RELEASE

2009年5月15日

報道関係各位

2009年3月期(第1期)連結決算概況

I. 当期の連結業績(2008年4月1日～2009年3月31日)

1) 経営成績(単位:百万円)

	当 期	参 考 値 *注
売上高	955,947	928,480
営業利益	91,520	118,254
経常利益	96,103	124,125
当期純利益	47,083	61,865

2) 財政状態(単位:百万円)

	当 期	参 考 値 *注
総資産	1,298,789	1,033,976
純資産	863,815	731,782
自己資本比率	62.3%	48.6%
1株当たり純資産	36,005. ²⁶	38,132. ³⁶

1株当たり純資産の単位:円

3) キャッシュ・フローの状況(単位:百万円)

	当 期	参 考 値 *注
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,470	117,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,610	△75,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,196	△16,209
現金及び現金同等物の期末残高	230,104	222,647

4) 投資額(単位:百万円)

	当 期	参 考 値 *注
研究開発費	135,900	101,804

*注) 上記「参考値」は、大塚製薬株式会社の44期連結決算概況(2008年3月期)の数値です。

5) 連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社数:65社

持分法適用会社数:12社

6) 連結範囲および持分法適用の異動状況

連結子会社数(増加): 21社

大塚製薬株式会社

大塚化学ホールディングス株式会社

大塚化学株式会社

大塚食品株式会社

ニュートリシヨン & サンテ SAS

他 16社

持分法適用関連会社数(増加): 1社

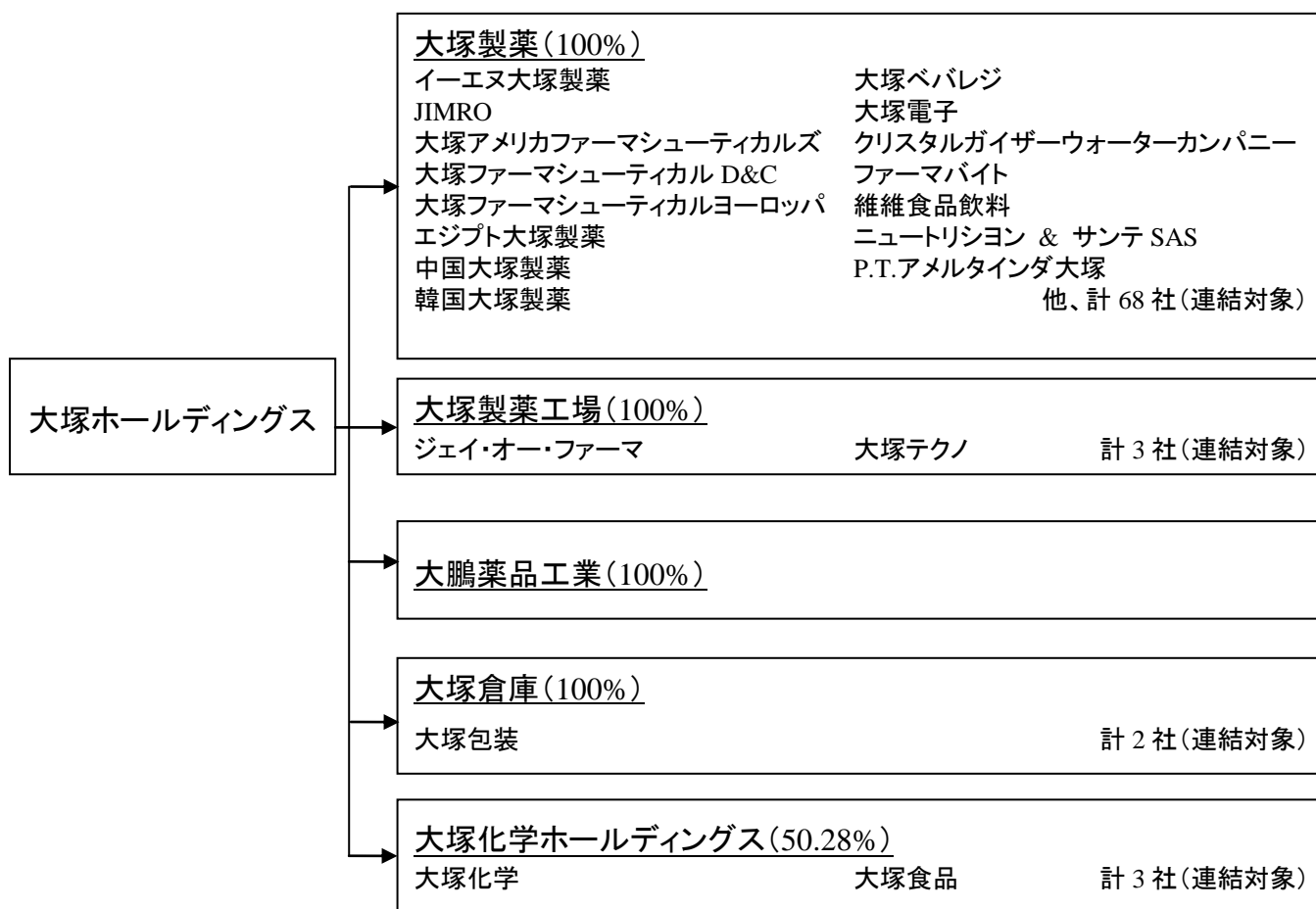
アルマ S.A.

持分法適用関連会社数(減少): 1社

大塚化学ホールディングス株式会社

II. 事業系統図(2009年3月31日現在)

連結対象会社:親会社+77社



III. 事業の経過及び成果

当期の概況:

	当 期	(単位:億円) 参 考 値 *注
売上高	9,559	9,284
国内*	6,136	5,708
海外**	3,423	3,575
経常利益	961	1,241
当期純利益	470	618

* 親会社および国内連結対象会社の売上 ** 海外連結対象会社の売上

*注) 上記「参考値」は、大塚製薬株式会社の44期連結決算概況(2008年3月期)の数値です。

大塚ホールディングス株式会社は、当社グループ全体の企業価値向上を目指し、平成20年7月8日にグループの持株会社として発足いたしました。

当連結会計年度は、米国のサブプライムローン問題をきっかけに金融不安が拡がり、世界経済は急激に減速いたしました。市場の安定化に向け各国政府が金融政策を推し進めたものの、世界的な景気減速は引き続き予断を許さない状況です。わが国経済においても、金融危機による景気の減速に加え、円高等の要因により企業収益が悪化するとともに、先行きの不透明感から個人消費も減退いたしました。

医療関連事業分野におきましては、大手企業によるM&A、アライアンスの増加など、グローバルな事業戦略の進捗がますます企業業績に影響を与えています。国内においては、昨年度は業界平均5.2%の薬価引き下げ、後発医薬品の使用促進、外資系製薬企業の攻勢等により、厳しい状況が続いております。

当社グループの医療関連事業分野では、未解決の医療ニーズを捉えた研究・開発に注力し、世界の人々に質の高い医薬品とその情報を提供する体制の強化に努めてまいりました。

一方、消費者関連事業分野では、昨秋以降の景気低迷による個人消費の落ち込みがより顕著となり、国内大手企業においてはこの事業分野での生き残りをかけ、海外企業に積極的に資本参加するなど、グローバル化が加速しております。

当社グループの消費者関連事業分野では、消費者ニーズに沿った製品提供、環境に配慮した製品の育成、製品ごとのブランド構築を図るとともに、グローバル展開を加速するための投資を積極的に行いました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は9,559億47百万円となり、経常利益961億3百万円、当期純利益470億83百万円となりました。

IV. セグメント情報

●医療関連事業

(単位:億円)

	当 期	参 考 値 *注
売 上 高	6,767	6,402

*注) 上記「参考値」は、大塚製薬株式会社の44期連結決算概況(2008年3月期)の数値です。

治療薬の分野では、大塚製薬株式会社の抗血小板剤「プレタール」、胃炎・胃潰瘍治療剤「ムコスタ」、抗精神病薬「エビリファイ」の主力製品が順調に業績を伸ばしました。「プレタール」は、スウェーデン、フランス、イタリアでも販売を開始し、欧州でも拡大しております。「ムコスタ」につきましても、国内とアジア各国で順調に業績が推移しております。「エビリファイ」は、すでに世界70カ国以上で承認され、新しい作用機序をもった非定型抗精神病薬として受け入れられており、全世界での売上は約8.5%増の成長を示しております。米国と欧州においても、効能追加等により業績は順調に推移いたしました。国内においては、適正使用情報の浸透とともに処方拡大し、平成21年1月には「エビリファイ内用液0.1%」の剤形追加が承認されました。また、平成20年6月にベルギーのUCB社と抗てんかん薬「Keppra」及び抗リウマチ薬「Cimzia」の日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結いたしました。

大鵬薬品工業株式会社においては、主力製品である抗悪性腫瘍剤「ティーエスワン」が積極的な情報提供により順調に販売されております。還元型葉酸製剤「ユーゼル」は錠剤の小型化等により伸長いたしました。抗潰瘍剤「プロテカジン」は、ユニークな作用機序が評価され、業績は順調に推移しております。アメリカのワイス社に導出している抗生物質原薬「タゾバクタム」を主原料とした注射製剤「ゾシン」は世界94カ国で販売され、国内では大正富山医薬品株式会社が平成20年10月に発売し、業績に貢献しております。

臨床栄養分野では、株式会社大塚製薬工場の高カロリー輸液用「糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン液「ネオパレン1号輸液」「ネオパレン2号輸液」の大容量製品の追加発売等により、順調な実績を上げております。ビタミンB1・糖・電解質・アミノ酸液「ビーフリード輸液」及び経腸栄養剤「ラコール」も引き続き堅調な業績を示しております。平成20年5月には脳脊髄手術用洗浄灌流液として国内で初めて効能・効果を取得した「アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液」を発売し、脳外科医認定訓練施設などで処方を伸ばしております。

●消費者関連事業

(単位:億円)

	当 期	参 考 値 *注
売 上 高	2,491	2,586

*注) 上記「参考値」は、大塚製薬株式会社の44期連結決算概況(2008年3月期)の数値です。

大塚製薬株式会社のパーティープの大豆栄養製品「SOYJOY」は、グローバル製品としての育成に努めており、現在世界7ヶ国・地域で発売されております。国内ではアイテムの追加、積極的な営業活動により売上が順調に進展いたしました。平成20年4月には徳島板野工場に国内2番目となる「SOYJOY」工場が竣工し、同時期に「SOYJOY」ストロベリー、同年10月には「SOYJOY」オレンジ葉酸プラスを発売し、さらにラインナップの充実を図っております。

「ポカリスエット」は、洞爺湖サミット、第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)に協力するなど、社会全体の環境に対する意識の高まりもあり、環境に配慮した500mlペットボトル「エコボトル」が評価され、さらなるブランドの育成に貢献いたしました。また海外では、インドネシアにおいて年間3億8,000万本の販売を達成するなど順調に進展しております。

従来の製品開発とは異なるサイエンスで「肌の健康」を達成した新創造市場、すなわち大塚によるコスメディクス(Cosmetic + Medicine = Cosmedics 健粧品)分野におきましては、平成20年9月、男性スキンケア分野での新たな市場創造を目指して、全身スキンケアブランド「UL・OS(ウル・オス)」を発売いたしました。また、女性用スキンケアブランド「インナーシグナル」が、製品ラインナップの強化や、カウンセリング重視の販売方法等により、売上を伸ばしました。

大塚ベバレジ株式会社が扱う「クリスタルガイザー」は、パーソナルサイズに注力するなどブランド力の強化に努めた結果、輸入ミネラルウォーターとして国内第2位の売上を確保しております。

V. 研究開発の概況

当社グループの医薬品開発は、世界中の未解決の医療ニーズを満たすため、グローバルに広がる独自のネットワークを活かし、中枢神経、がん、循環器領域等を中心とした医療用医薬品の研究開発を行っています。(現在開発中の医薬品については別紙ご参照ください)

また、消費者関連事業では、「日々の健康をサポートする」というニュートラシューティカルズ の考えのもと、運動と栄養あるいは健康について科学的な根拠をもった商品開発を続けています。

連結損益計算書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
売上高	955,947	
売上原価	322,596	
売上総利益	633,351	
販売費及び一般管理費	541,830	
営業利益	91,520	
営業外収益	11,045	
受取利息及び配当金	4,060	
負ののれん償却額	2,464	
持分法による投資利益	1,782	
その他	2,738	
営業外費用	6,462	
支払利息	1,560	
為替差損	2,951	
その他	1,950	
経常利益	96,103	
特別利益	2,133	
退職給付制度終了益	1,097	
自主回収製品処分益	428	
その他	608	
特別損失	8,118	
固定資産除却損	951	
投資有価証券評価損	3,902	
減損損失	1,565	
製品自主回収損失	1,006	
その他	692	
税金等調整前当期純利益	90,117	
法人税、住民税及び事業税	35,601	
法人税等調整額	548	
少数株主利益	6,884	
当期純利益	47,083	

大塚グループ 開発品目一覧

開発コード または商品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
中枢神経領域						
OPC-14597	アリピプラゾール	大塚製薬	ドパミンパーシャル アゴニスト	若年者統合失調症/経口剤	欧	申請中
				自閉症/経口剤	米	申請中
				統合失調症/デポ製剤	米、欧	Phase III
				双極性感情障害躁病/経口剤	日	Phase III
				大うつ病補助療法/経口剤	日	Phase III
				トゥレット病/経口剤	韓国	Phase III
L059	レベチラセタム	UCB	抗てんかん剤	てんかん 部分発作/経口剤	日	申請中
SPM-962	ロチゴチン	UCB	ドパミンアゴニスト	パーキンソン病/貼付剤	日	Phase II
				むずむず脚症候群/貼付剤	日	Phase II
循環器領域						
OPC-41061	トルバプタン	大塚製薬	バソプレシンV2 受容体拮抗剤	低ナトリウム血症/経口剤	米、欧	申請中
				心不全の増悪期/経口剤	米、欧	申請中
				心性浮腫/経口剤	日	申請準備中
				常染色体優性 多発性嚢胞腎/経口剤	グローバル	Phase III
				肝性浮腫/経口剤	日	Phase II
				低ナトリウム血症/経口剤	中国	Phase II
消化器・代謝領域						
CDP870	セルトリズマブ ペゴル	UCB	PEG化TNFα 抗体	クローン病/注射剤	日	申請準備中
				慢性関節性リウマチ/注射剤	日	Phase III
OPC-6535	テトミラスト	大塚製薬	新規抗炎症剤	クローン病/経口剤	日	Phase II
OPC-12759	レバミピド	大塚製薬	消化器官用薬	潰瘍性大腸炎/注腸製剤	日	Phase II

開発コード または商品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
がん・がんサポーター領域						
ABI-007	アルブミン結合 パクリタキセル	アブラキシス バイオサイエンス	抗がん剤(ナノ製剤)	乳がん/注射剤	日	申請中
PALO	パロノセトロン	ヘルシン ヘルスケア	5-HT3受容体拮抗剤	悪心・嘔吐/注射剤	日	申請中
OVF	フェンタニル	セファロン	麻薬性鎮痛剤	がん性疼痛/口腔粘膜吸収剤	日	Phase III
S-1		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	胃がん/経口剤	米、欧	Phase III
			抗がん剤(代謝拮抗剤)	子宮頸がん/経口剤	日、アジア	Phase III
			抗がん剤(代謝拮抗剤)	非小細胞肺がん、膵がん/経口剤	米	Phase II
			抗がん剤(代謝拮抗剤)	前立腺がん、腎細胞がん、 肝細胞がん/経口剤	日	Phase II
TSU-68		大鵬薬品工業	抗がん剤(分子標的剤)	肝細胞がん/経口剤	日	Phase II
			抗がん剤(分子標的剤)	乳がん/経口剤	日、アジア	Phase II
TAC-101		大鵬薬品工業	抗がん剤(分子標的剤)	肝細胞がん/経口剤	日、米	Phase II
TAS-102		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	結腸・直腸がん/経口剤	米	Phase II
			抗がん剤(代謝拮抗剤)	結腸・直腸がん/経口剤	日	Phase I
TAS-106		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	頭頸部がん/注射剤	米、アジア	Phase II
TAS-108		大鵬薬品工業	ホルモン剤	乳がん/経口剤	日、米	Phase II
TAS-109		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	結腸・直腸がん/注射剤	米	Phase II
OPC-18 (オーアイエフ)	インターフェロンα	林原生物化学研究所	天然型 インターフェロンα 製剤	高度進行 肝がん(5FU併用)/注射剤	日	Phase II
OPC-33300	サティベックス	GWファーマ シューティカルズ	カンナビノイド(THC, CBD)	がん性疼痛/口腔内スプレー製剤	米	Phase II
OPB-31121		大塚製薬	抗がん剤	抗がん剤/経口剤	米、アジア	Phase I

開発コード または商品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
その他領域						
ODK-0501 ラビラン肺炎球菌	肺炎球菌キット (申請中)	大塚製薬	肺炎球菌感染症 診断補助剤	肺炎球菌感染症 診断補助/体外診断薬	日	申請中
FRG-8813	ラフチジン	UCB	H2受容体拮抗剤	軽症逆流性食道炎/経口剤	日	Phase III
P4	塩酸プロピペリン	大鵬薬品工業	尿失禁・頻尿治療剤	過活動性膀胱/経口剤	日	Phase III
OPC-12759	レバミピド	大塚製薬	ムチン再生促進剤	ドライアイ/点眼剤	米	Phase III
				ドライアイ/点眼剤	日	Phase II
OPC-262	サクサグリプチン	BMS	DPP-4阻害剤	糖尿病/経口剤	日	Phase II
OPC-6535	テトミラスト	大塚製薬	新規抗炎症剤	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)/経口剤	日、米、 中、韓	Phase II
OPC-67683		大塚製薬	抗結核薬	肺結核/経口剤	グローバル	Phase II
TAC-201		明治乳業	スギ花粉症 ペプチド免疫療法剤	スギ花粉症/注射剤	日	Phase I